

我孫子市国土強靱化地域計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)結果の公表

お寄せいただいた意見及び意見に対する市の考え方を公表します。

■ パブリックコメントの結果

我孫子市国土強靱化地域計画(案)についてパブリックコメントを実施したところ、次の結果になりました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

- 1 募集期間 令和4年12月16日から令和5年1月16日
- 2 提出人数 2名
- 3 意見総数 20件
- 4 公表場所

市民安全課、行政情報資料室(市役所本庁舎1階)、各行政サービスセンター、生涯学習センターアビスタ、湖北地区公民館、市民プラザ、我孫子市民図書館湖北分館及び布佐分館、各近隣センター、我孫子市ホームページ

- 5 意見公募した内容 我孫子市国土強靱化地域計画(案)(別紙参照)
- 6 意見と意見に対する市の考え方

| 整理番号 | 意見 | 提出された意見 | 意見に対する市の考え方 |
|------|----|---|--|
| | 理由 | | |
| 1-1 | 意見 | 第5章 リスクへの対応方針について 消防体制の強化 スタンドパイプの配備及び実地指導 | 国土強靱化地域計画については、国土強靱化に関する指針を示す計画として位置付けており、具体的な対策や事業の進行内容などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。 また、本計画におけるリスク対応方針や施策等については、市の総合計画などとの整合を図り、現状で市が実施している施策に基づき記載しています。 特に、「地域防災計画との違い」については、計画案3ページに明記していますが、ご意見にありました、災害時の「消防体制の強化」についても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。 そのため、原文通りといたします。 |
| | 理由 | 我孫子市は国道から脇道にそれると住宅密集地が多く、災害時に火災が発生した場合、消火活動は消防署、消防団だけでは初期消火が出来ず大きな火災になる可能性がある。 東京都の下町のように自治会がスタンパイプを管理していざ問ういう時には自主防災組織が使用できるように配備、実地指導し、少しでも火災による犠牲者を出さないようにする取り組み。 | |
| 1-2 | 意見 | 防火体制の強化 自治会やマンションの管理組合を通し、震度6弱以上の地震が発生した場合の排水禁止。 | 本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。 ご意見にありました、災害時の「防火対策の強化」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。 そのため、原文通りといたします。 |
| | 理由 | 災害により下水が使用できなくなった場合の措置として、またマンション等は排水管の断裂による汚水の浸水が考えられる。 東日本大震災の際、マンションの住民が排水をしたことにより1階の住居に汚水が流れ込み、現在も訴訟が続いているケースもあるため。 しかし、この実態を良く理解していないマンション住民が多い。 その為の啓発活動が必要であると考えます。 | |
| 1-3 | 意見 | 家庭内備蓄の促進 ローリングストックの啓発活動が重要(食糧、日用品、衛生用品) | 本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。 ご意見にありました、「家庭内備蓄の促進」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。 そのため、原文通りといたします。 |
| | 理由 | 各家庭及び事業所で最低3日(できれば7日)の食糧、生活物資等の備蓄が必要と書かれていますが、私が講演をする中で先ず言われるのが7日の食糧の備蓄は無理と言われます。まだまだローリングストックの意味が市民に浸透していないように感じます。ローリングストックストックをわかりやすく啓発してゆくことが必要と考えます。 | |

| | | | |
|-----|----|--|---|
| 1-4 | 意見 | <p>応急給水体制の整備 災害協力井戸協力宅に発電機購入の助成金 近隣センターや自治会館などの防災井戸の整備</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「応急給水体制の整備」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>私の住んでいる町内会でも、「災害協力井戸」と書かれたプレートを見かけますが、実際にそのお宅を訪ねると発電機は無いと言われます。</p> <p>停電時にはどのようにして水を供給するのでしょうか？野田市は「災害協力井戸」協力宅には発電機購入助成金があります。我が自治会（防災会）では独自に自治会員から防災協力井戸の協力者を募り、災害時には防災会で所有する発電機を貸し出し皆さんに生活用水を供給する体制を整えています。（飲料不可です）</p> <p>また、福祉避難所としてしようする近隣センターや自治会員の拠り所である自治会館などの災害井戸（手動ポンプ）の整備も必要であると考えます。</p> | |
| 1-5 | 意見 | <p>食糧等の安定供給の停滞 防災体制の強化 食糧の備蓄は各自で（自分たちの命は自分たちでまもる）</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「防災体制の強化」及び「家庭内備蓄の促進」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>多くの市民の中でいざという時、市の援助をたよる方が多いようです。弱者用の食糧の備蓄は必要と考えますが、それ以上の食糧の備蓄は必要ないと思います。何故なら地域の防災訓練で配布される市が備蓄している食糧の殆どが自宅に持ち帰っても食べずに捨てられてしまう現実です。</p> <p>東京都も備蓄食糧の食品ロスを問題視しておりますし、神奈川県座間市では市の食糧備蓄をやめた自治体もあります</p> <p>食品ロスになるのであればその予算を他の防災の予算に振り分けたいかがでしょうか？</p> <p>そのためにはローリングストックの啓発活動が重要だと思います。</p> | |
| 1-6 | 意見 | <p>要配慮者利用施設の避難体制の整備 福祉避難所の整備（福祉避難所はどのようにして開設されるのか？）等の啓発活動が重要</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「要配慮者利用施設の避難体制の整備」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>福祉避難所という言葉と場所は知っているが、災害時に直ぐ福祉避難所に指定されている場所に行けば良いと思っている市民が多い。</p> <p>福祉避難所は直ぐには開設されない事、福祉避難所は受け入れる側に制限があることをもっと啓発活動して欲しい。</p> <p>近隣センター等福祉避難所になりうる場所の備蓄体制の充実が重要だと思います。</p> | |
| 1-7 | 意見 | <p>関係機関との災害対応訓練の実施 関係機関の中に防災士や災害援助ボランティア推進委員会等の団体も加えて欲しい</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「防災体制の強化」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>防災体制の強化の中に、防災士や災害援助ボランティアの育成への助成、訓練の支援とあるが、育成するための助成ではなく平時における防災減災のコーディネーターとして活用して欲しい。</p> <p>船橋市では船橋SL災害ボランティアネットワークが船橋市の危機管理課と一緒に防災・減災の活動を行っています。</p> | |
| 1-8 | 意見 | <p>防災拠点施設における非常用電源の確保 公共施設、学校、近隣センター、自治会館等への太陽光発電システム、蓄電池設備の設置 近隣センター、自治会館等のLPガス化</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「防災拠点施設における非常用電源の確保」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>公共施設、学校、近隣センター等は避難所として使用するので太陽光発電システムや蓄電池設備の整備は急務である。また自治会館は自治会員の拠り所でもあり、災害時には自治会の災害対策本部としての機能を果たさなければならない。そのためにも太陽光発電システム、蓄電池設備</p> | |

| | | | |
|-----|----|--|--|
| | | <p>の整備が必要であると考え。</p> <p>また、近年ではLPガス用の発電機も安くなってきた。カセットボンベやガソリンなどに比べ保管、備蓄の面ではLPガス発電機の方がメリット大である。</p> <p>自治会館をLPガス化することにより災害時都市ガスの供給が止まってもガスで煮炊きすることも可能である。</p> | |
| 1-9 | 意見 | <p>災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達が出来ず、避難行動や救助・支援が遅れる事態</p> <p>防災体制の強化</p> <p>市役所・各自治会の情報伝達手段として簡易無線機の配備、市内アマチュア無線局との連携</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「防災体制の強化」及び「情報伝達手段の整備」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>通信手段の機能停止（電話・携帯電話が使用できない場合）にはラジオ等では広範囲の情報収集は可能ですが、我孫子市内の情報収集は出来ません。</p> <p>市役所に簡易無線のアンテナを設置し、各自治会に簡易無線機を設置すれば市役所、各自治会とのやり取り、避難所との連絡もスムーズに行くのではないのでしょうか？</p> <p>また、市内のアマチュア無線局と連携をとることも可能かと思えます。</p> <p>市内には多くのアマチュア無線局がありますので災害時協力井戸の様に災害時協力情報伝達局としての役割を与えたら如何でしょうか？</p> <p>因みに私は協力します。</p> | |
| 2-1 | 意見 | <p>第1章 総論</p> <p>4 計画の構成</p> <p>本計画は、「基本計画編」及び「アクションプラン編」の2編で構成する。</p> <p>第6章 計画の推進・進捗管理</p> <p>1 施策の重点化</p> <p>36のリスクシナリオについて、・・・別冊の我孫子市国土強靱化地域計画「アクションプラン編」を参照のこと。</p> <p>しかし、この「アクションプラン編」を確認したい旨を伝えた結果、「作っていない」との回答があった。一般市民としては、その回答では、残念であります。せめて、「優先順位」などを示していただければ良かったと考えます。今後は、同時に提示をして下さい。</p> | <p>「我孫子市国土強靱化地域計画」は、「基本計画編」「アクションプラン編」の2編構成としており、「アクションプラン編」については、事業採択された事業計画を網羅した内容とすることから、この度のパブリックコメントの実施については、「基本計画編」のみとしています。</p> <p>「アクションプラン編」については、41ページに記載の通り、市の実施計画と整合させた事業を示すこととし、事業の進捗状況等を勘案しながら、年度ごとに細かな時点修正を加えるため、現在作成中の「アクションプラン編」は、次年度の事業採択が決定した後に公開する予定です。</p> <p>また今後も「アクションプラン編」については、年度ごとに、次年度の事業採択が決定した後に更新（見直し）を行っていくものとしています。</p> |
| | 理由 | <p>「アクションプラン編」によって優先順位が判り、どの様になっていくかがどうか、考えられるからであります。</p> <p>「我孫子市第4次総合計画」に記載があると説明がありましたが、そこから、「アクションプラン」の内容を、市役所の担当者が考える事と、併せる事は非常に難しいためです。</p> | |
| 2-2 | 意見 | <p>第2章 市の地域特性</p> <p>2 自然環境</p> <p>(2) 気候</p> <p>気候は、比較的温暖であり、令和3年の平均気温は15.0℃、月平均最高気温は30.9℃、月平均最低気温は-1.5℃、降水量は年間1,729.5mmであった。</p> <p>***令和2年8月の我孫子市国土強靱化地域計画では、</p> <p>(2) 気候</p> <p>気候は、比較的温暖であり、平成30年の平均気温は15.3℃、最高気温は32.2℃、最低気温は-2.2℃、降水量は-2.2℃、降水量は年間1,193.5mmであった。***</p> <p>このことを踏まえて、</p> <p>4. 我孫子で想定される自然災害</p> <p>(2) 風水害</p> <p>・・・ここに記載のある言葉は、令和2年8月分と同文であるが、</p> | <p>国土強靱化地域計画については、国土強靱化に関する指針を示す計画として位置付けており、具体的な対策や事業の進行内容などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>また、第2章「市の地域特性」は、計画の前提となる市の概況や自然環境、社会環境などの実績データ等を記載しており、気象状況などの分析を加えているものではありません。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |

| | | | |
|-----|----|--|--|
| | | <p>例えば、降水量に焦点をあててみると、平成30年(2018)の1,193.5mmと、令和3年(2021)の1,729.5mmとあるが、たった3年間の降水量の差が、536mmもあったことの驚きであり、これに対して、我孫子市としては、(記載がないため)平成30年と、同様にしか今後の気候変動への恐れがないことが不思議であります。・・・市民が安全安心をするためにも、今後の対応については、現在ある全ての施設(*インフラ設備)を見直して、市民の安全安心の為にも対策を記載して欲しい。</p> | |
| | 理由 | <p>今後の安心安全のための対策が絶対的に必要である。 *インフラ設備を当初の企画設計時点での元データ(過去の気象観測のデータ)を基に設備構築をしています。そのため、変更があったら、(気象データの変更に伴い)見直しをするべきと考えます。</p> | |
| 2-3 | 意見 | <p>4. 我孫子市で想定される自然災害 (4) その他の災害 その他の災害として、「富士山火山防災マップ」(内閣府)に基づく富士山の降灰、浅間山の降灰、土砂災害、大雪による雪害等が想定される。とあるが、令和2年8月では、その中に、『局地的な竜巻等が想定される』などの記載があった。・・・我孫子市の位置及び概況からの自然環境(1)地形・地質から読み取れることは、洪積台地、細長い馬の背状の土地、または、沖積低地が分布している、北斜面林、・・・自然の多いまちである。このことは、土砂災害が起きるようなことは、想定されるため、また、1種類の災害のみだけが発生するだけではなく、今後は、2種類から3種類(地震災害と風水害と大規模感染症等)の災害が重複的に発生する事も検討が必要と考えます。「自然災害の一つとしては、コロナウイルス関係のようなものも災害と考えるため」我孫子市として市民をまもるためにはとの考え方からのデータ等資料を示してほしい。</p> | <p>「我孫子市国土強靱化地域計画」における、我孫子市で想定される自然災害については、「我孫子市地域防災計画」など分野別の各種計画との整合を図り、あわせて市の地域特性などから、あらゆるリスクを見据えつつ、検討を行っています。 なお、過去の我孫子市における災害発生(被害)の履歴や指定区域、地震及び洪水などの発生予測データにつきましては、「我孫子市地域防災計画」や「あびこハザードマップ」、本計画に記載の「富士山火山防災マップ」などの国・県発行の計画・資料などをご参照ください。</p> |
| | 理由 | <p>自然災害のため、ガイドラインにあるように、自然災害のあらゆるリスクを見据えつつ、どんな事が起ころうとも最悪な事態に陥る事が避けられるような「強靱」な行政機能や地域社会、地域経済を事前につくりあげていこうとするもの。とあるため、市民の安心安全のためにも検討をすべきと考えます。</p> | |
| 2-4 | 意見 | <p>第3章 基本目標 1. 基本目標 ・・・次の4つの基本目標を定め強靱化を推進する。 表：1. 人命の保護が最大限図られること、2～4. ...を旨とし、「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安全・安心な地域づくりを推進する。 2. 事前に備えるべき目標 表：1. 直接死を最大限防ぐ。と記載してあるが、下線については、『人命の保護が最大限図られる』と修正をすべきであります。・・・この件について関係する対策を修正すべきと考えます。</p> | <p>「第3章 基本目標」の「1 基本目標」及び「2 事前に備えるべき目標」については、11ページに記載の通り、国の基本計画及び千葉県の地域計画との一体的な調和(整合)を図ることが大変に重要であり、また内閣官房国土強靱化推進室作成のガイドラインに基づく記載内容としています。そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>「自然災害等に対する脆弱性評価」を実施するための指針 平成25年4月10日 国土強靱化の指針に関する関係府省庁連絡会議 (別紙) 国土の強靱性(レジリエンス)を確保するうえで事前に備えるべき目標に記載のある、(目標欄)1. 大規模災害が発生したときでもすべての人命を守る。とあります、従来での災害での「死」を考えると、「直接死」及び「災害関連死(間接死等を含む)」があります。東日本大震災の事例でもわかるように、『一端避難所(転々と移動)へ、その後、通常的环境ではなく、移動先的环境に合わせるため、</p> | |

| | | | |
|-----|----|--|--|
| | | <p>体調を壊し、無くなる事例も良く報告されています。また、その者の看護をするため、体調不良となる場合などもある旨、等が有ることから、直接死に固執することなく、国民（市民）を保護していく等が最も大事と考えるからです』、このような事例も、真の国土強靱化へのためある。・・・再度、我孫子市として、全体に考えた時の対策を検討するべきと考えます。</p> | |
| 2-5 | 意見 | <p>第4章 リスクシナリオと脆弱性評価 3 リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）の想定 『表』 「事前に備えるべき目標」の『起きてはならない最悪の事態』欄が、1-1～1-4までとあるが、追加をお願いしたい。1-5：河川堤防の破堤等による死傷者の発生。1-6：関係する支援の不足による避難行動の遅れによる死傷者の発生。その他に、1-4の修正をお願いしたい。現行1-4は、土砂災害等による多数の死傷者の発生とあるが、これを、1-4：『土砂災害による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり脆弱性が高まる事態』と追記してほしい。</p> | <p>「第4章 リスクシナリオと脆弱性評価」の「3 リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）の想定」については、12ページに記載の通り、国の基本計画及び千葉県の地域計画のリスクシナリオ（最悪の事態）を参考に、また内閣官房国土強靱化推進室作成のガイドラインに基づく記載内容としています。 あわせてご意見のあったリスクシナリオの内容については、記載済みのリスクシナリオに網羅されているものと考えています。そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>1-5：については利根川の1級河川があるが、以前の風水害（雨の降り方）が今後尋常ではなくなるように考えるためであります。1-6：については、過去の日本国内の災害時における避難をニュース等で知るにつれ、早めの対応が大事と考えるためであります。1-4：の追加ですが、土砂災害がその時で全て（地球としての活動の一端であり）完了とはならないからであります。</p> | |
| 2-6 | 意見 | <p>5 経済活動を機能不全に陥らせない 5-4 ○ 信号機の停電対策 停電による信号機の停止が発生する交通渋滞、交通事故を回避するための対策を進める。と記載があるが、個々の信号設備に対して、太陽電池等設備を取り付けて、事故等を回避する対策として検討する。</p> | <p>国土強靱化地域計画については、国土強靱化に関する指針を示す計画として位置付けており、具体的な対策や事業の進行内容などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。 また、本計画におけるリスク対応方針や施策等については、総合計画などとの整合を図り、現状で市が実施している施策に基づき記載しています。 なお信号機設備については、千葉県公安委員会の所管となります。 そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>現行の信号設備は、ほぼ「LED」化が終了している信号設備であれば、使用電力が少ないため、太陽電池及び、蓄電池を利活用する事で、対策の一つとなると考えたためであります。</p> | |
| 2-7 | 意見 | <p>第4章 リスクシナリオと脆弱性評価 4 施策分野の設定 表のなかに 8 男女共同・人権・平和・国際交流：誰もが自分らしく輝ける共生社会を目指したまちづくりとあります。それを受けて、6 リスクシナリオと国土強靱化の施策とあり、 相関表をみると、 「事前に備えるべき目標」の欄の右側にある、1～9までの空白欄へ 8 男女共同・人権・平和・国際交流を追記すべきである。例えば、『8：● 外国人に対する防災意識の普及啓発に追加する事は、現行は、多言語による具要請情報の提供や相談支援などを推進し、在住外国人が安心して暮らせる環境の整備を図ります。との思いによるAIRAとの連携があるが、地球全ての多言語への対応できる人材を育成するよりも、もっと手軽に、『やさしい日本語での対応』などを普及させることにより、在住外国人や旅行外国人へも、また日本人にも伝わりやすいのではないか。との思いから、『やさしい日本語での対応』を追記すべきである。</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。また、本計画におけるリスク対応方針や施策等については、市の総合計画などとの整合を図り、現状で市が実施している施策に基づき記載しています。 ご意見にありました、「外国人に対する防災知識の普及啓発」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。 そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>日本の地で発生する災害であるため、そこに在住する人</p> | |

| | | | |
|-----|----|---|---|
| | | <p>に対しては、同じような情報を（同じような詳細を）提供する事が当たり前であると考えためです。考え方によっては、要配慮者への区分もあるためですが、一般日本人の地区内に在住しているのであれば、同じ仲間ですね。</p> <p>被災を失くす（少なくする）ことが目的ではないでしょうか？</p> | |
| 2-8 | 意見 | <p>第5章 リスクへの対応方針</p> <p>1 直接死を最大限防ぐ</p> <p>1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生</p> <p>● 防災体制の強化</p> <p>災害発生時に救助や避難といった地域での共助が出来るように、自主防災組織の設立を促進するとともに、既存の自主防災組織へは、資器材の公布、防災士や災害救援ボランティア育成への助成、訓練への支援を行い、地域防災力を向上させる*。また、災害の備えとして、引き続き食料や資器材の備蓄、市内外事業所等との協定締結、防災無線の整備、防災訓練の実施等、市の防災体制の強化に努める。とあるが、自主防災組織は各自治会等全てに対して組織をされてないため、下線部分を『全ての自治会に対しての自主防災組織化を図れるように強力に促進事務等を行う』と修正する。*欄には、次の言葉を追記願います。『また地域で活動しているボランティア団体との協力体制を作り、地元根付いた地域防災力をより一層の向上させる方法の一つとしたい。』</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「防災体制の強化」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>国土強靱化は、土地利用やあり方や、警察・消防機能、医療機能、交通・物流、エネルギー供給機能、などなど、リスクマネジメントの観点から見直し、対応策を考えて施策を進めていくのではと考えますが、実施主体も、地方公共団体（市役所）の関係部署・部局にとどまらず、自治会や住民、商工会議所等の経済団体に係る民間事業者など、広範な関係者と連携・協力をしながら進めるものであるとガイドラインにも記載があるように、関係する住民等に協力を依頼して行っていった方が、良いのではと考えました。</p> | |
| 2-9 | 意見 | <p>第5章 リスクへの対応方針</p> <p>2 救急・救助、医療活動等が塵族に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。</p> <p>2-5 被災地における疫病・感染症等の大規模発生</p> <p>○ し尿処理体制の整備</p> <p>災害時のトイレ機能を確保するために、避難所となる学校に順次、マンホールトイレを整備する。さらに、仮設トイレの調達体制の整備を図る。とあるが、新型コロナウイルス感染症防止の観点や、従来からの自然災害からの例えば「建築基準法」等の見直し等により、住民が全て指名されている避難所へ避難をするかは、自然災害の状況にもよるが、現行は、なるべく自宅等を自然災害時における個人避難所としてほしい（考え方）が有ると考えます。その時に、必要な事は、大災害時における大型災害ゴミ等の処理等についてですが、これは、大型災害ゴミの集積所を、関係者により早めに決めることが大事と考えます。この件についても、そのような動きがありません。問題点は、現在可燃ごみ扱いである【尿便ゴミ】の処分対応であります。⇒大型ごみの集積所については、関係各位及び自治会等の関係者が事前に調整を図る事。と追記をお願いします。</p> <p>災害時における【尿便ゴミ】についても、早急に①各自の保存方法及び排出方法と、集積所についての約</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「し尿処理体制の整備」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |

| | | | |
|------|----|---|--|
| | | <p>束事（曜日・日等）の守り事など、この平常時においてこそ、各関係者等が集り、意見を持ち寄って、方法を定めて頂きます。「平形トラックにて収集する。」また「調整を図り記録に残すこと」。以上の追記もお願いします。</p> | |
| | 理由 | <p>大型ごみ等の対応についても、その被害時においては、時間が短いことと合わせるため、大変なこととなるため、事前に早めに調整等が必要と考えます。</p> <p>又【尿便ゴミ】等の処理について</p> <p>現在は、数量も少ないことから、通常の可燃ごみ扱いとしているのが現状です。しかし、災害被災時においては考えると、量の問題点から、通常の可燃ごみの通常の袋に入れたような状態の出し方では、臭いが問題となる事は明白です。</p> <p>現在の可燃ごみの収集車は、一般的である地域毎でのクリーンセンターとの約束の収集場所に収集車として「パッカー車」により、集まったゴミを車に圧縮して数多く集めて、クリーンセンター（焼却所）で焼却処理を行っているのが平常時の作業であります。しかし、災害時における【尿便ゴミ】の収集については、次に様な問題点があります。</p> <p>（現在の圧縮方法の収集方法）（パッカー車等による「圧縮方法」では、臭いが発生した場合の対応を考慮していない事が判ります。そのため、毎日一人当たり約 1.2 kg程度を何日か自宅にて保管を行い、その後、地域で決めた【尿便ゴミ】収集場所へ移動する場合に、箱等に積めて移動し臭いが漏れ出ないように処理を行い、収集場所へ崩れないように置き、鳥等に影響が出ないように処理要す）収集車へ焼却所への移動運搬をお願いする流れですが、この収集車をパッカー車から通常の平形トラックでの収集作業に変更をお願いしたいことと併せて、運搬時等の作業時において、臭いが漏れ出ないように方法を施すことが大事であります。漏れ出た場合には、臭いが、街じゅうに流れていく事は想像できます。また、その臭いを車から除去しようとする作業も大変でありますし、その臭いがある場合は、被災した関係者たちが、次への頑張ろうとする意識も少なくなってしまうますし、車を運転して焼却所所へ運搬する人も、気持ちがなえてしまうのではと考えます。国土強靱化地域計画に対して、追記をお願いします。この平常時においてこそ、各関係者が集り、意見を持ち寄って方法を定めて頂きます。</p> <p>計算すると、100世帯程度であって、10日程度保管とする1世帯が3人程度で計算すると、例：1.2 kg×100×10日×3=3.6 tの重量となります。</p> | |
| 2-10 | 意見 | <p>第5章 リスクへの対応方針</p> <p>2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止</p> <p>●家庭内備蓄の促進</p> <p>災害時にライフライン施設や食料の流通が途絶えることを考慮し、各家庭及び事業所で<u>最低3日分（できれば7日分）の食糧、生活物資等を備蓄するよう</u>、防災広報、訓練等の機会を通じて啓発する。とあるが、下線部分をローリングストック等を活用し、食料は最低7日分とし、生活物資は、最低1か月分を備蓄するようあらゆる手段を講じて啓発を実施していく。と修正をお願いしたい。</p> | <p>本計画における、具体的な対策や事業の進行などについては、分野別の各種計画において位置付けられるものとなります。</p> <p>ご意見にありました、「家庭内備蓄の促進」につきましても、「我孫子市地域防災計画」において具体的に対策等を記載しています。</p> <p>そのため、原文通りといたします。</p> |
| | 理由 | <p>現在、すでに「ローリングストック」などの言葉は理解できているので、なお、ローリングストック：早めに食する場合は、①冷凍冷蔵庫内の（冷蔵部分）、②冷凍冷蔵庫の（冷凍部門）食材、③常温保存の食材の流れで消費する事である。最後の最後になったら、それまで保存してある、『非常</p> | |

| | | | |
|------|----|--|--|
| | | <p>時用の食材（例えば、缶詰等）を食するようになる。水でも「1人3.00程度とされるが、普段から汗かきの方は、それ以上の備蓄を必要とすることは明白であり、ご自宅でのペットに対する水分および食料も（「個人的な」）備蓄の必要性を検討するべきと考えます。また、水であることは、日本の中の水は、「軟水」が多いが、「ミネラル分」が多くある『硬水』でも保存し飲料の用に耐える。）生活物資については、日本の地域の中の生産工場の位置から検討をすることと、被災からインフラ設備等の設備開通時期を考慮するとこの程度が妥当と考えます。</p> <p>*あらゆる手段とは、市役所等の公共的な所のみでは対処する時間的なリスクがあるため、住民等との共生社会を目指すことにより、事前にボランティア等とも打ち合わせを行い、啓発活動に協力を依頼する事が必要と考えます。</p> | |
| 2-11 | 意見 | <p>全体的に、「国土強靱化」については、行政・民間事業者・住民それぞれが、多様化が有るように、様々な形で、周囲と連携・協力をしながら、強靱化への取り組みを少しずつ進めていく。打ち合わせも重ねていく事が大事ではないかと常々考えています。現在の市民は、過去に色々な形の行動をしています。そのため、相談や協力依頼をすることによって、前へ進めるのではないのでしょうか？ボランティアをしている方も多くいます。皆で力を集めて、漏れがないように進んでいきたいと考えます。</p> | <p>41ページに記載の通り、「我孫子市国土強靱化地域計画」の施策については、「我孫子市総合計画」において定める事務事業を位置づけ、推進を図るものとしています。このことから、17ページに記載の「(4) 国、県、地域住民、民間事業者等との連携の必要性」の通り、それぞれの事務事業の実施にあたっては、市のみならず、国や県、関係機関、民間事業者、ボランティア団体、市民の皆さんとの連携・協力を踏まえ進めていきます。</p> |
| | 理由 | <p>行政・民間事業者・住民それぞれが、多様化が有るように、様々な形で、周囲と連携・協力をしながら、強靱化への取り組みを少しずつ進めていく事が必要かつ大事であると考えました。</p> | |

※意見及び理由については、原文のまま記載しています。

7 内容の修正について

今回寄せられたご意見による、計画内容の修正はありません。

なお、今回公表いたしました計画（案）の一部に誤字脱字等があり、修正をしましたが、計画内容に変更が生じるものではありません。

8 担当 我孫子市役所 市民安全課 危機管理係

TEL : 04-7185-1111 (内線 295)